

GLENN FREY

グレン・フライ

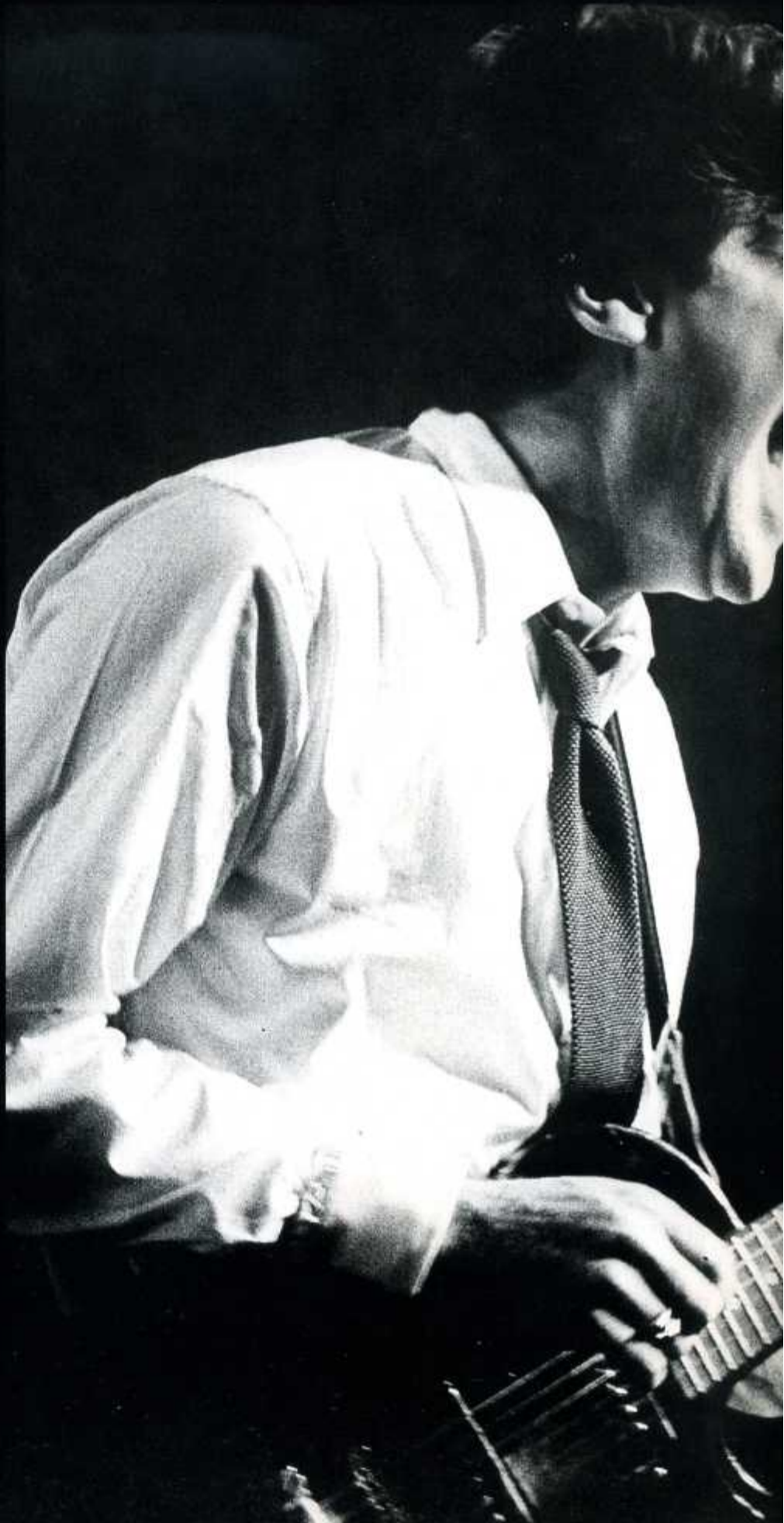
WOOD ARTISTS, INC.
PRESENTATION 1982
KUPATION '82 第21弾

日本公演

- 12日 名古屋 名古屋市公会堂
主催 ■ 中部日本放送
- 13日 大阪 フェスティバルホール
主催 ■ ウドー音楽事務所
- 14日 京都 京都会館第1ホール
主催 ■ 京都音楽文化協会
- 16日 東京 武道館大ホール
主催 ■ 文化放送 / ウドー音楽事務所

ウドー音楽事務所
ワーナー・パイオニア
ブリヂストンタイヤ株式会社

by HIROSHI ITAKI
by LD. KIKAKU





GLENN FREY BAND

グレン・フライ (Vo, G, Key)
GLENN FREY

デイヴィッド・ウォリンスキー (Ke)
DAVID WOLINSKI

ジョン・ロビンソン (Ds)
JOHN ROBINSON

ダンカン・キャメロン (G)
DUNCAN CAMERON

ジョッシュ・レオ (G)
JOSH LEO

ヴィンス・メラメド (Key)
VINCE MELAMED

ブライアン・ガロファロ (B)
BRYAN GAROFALO

アル・ガース (Sax)
AL GARTH

マイケル・ヒューイ (Ds)
MICHAEL HUEY

GLENN FREY STORY

70年代のアメリカン・ロック・シーンを背負ってきた最高のバンド、イーグルス。永遠の名作『ホテル・カリフォルニア』を残し、多くの金字塔を打ち建ててきたが、2年間の沈黙の後、今年になって正式に解散を発表、メンバーはそれぞれソロ活動を開始した。中でも一早く行動を起こしたのが、リーダーだったグレン・フライである。まずソロ・アルバムを発表、そしてツアーへと一番初めに日本にやってきた。イーグルスを離れて、一人で逞しく飛びたったグレン・フライの姿をこんな早く見られるとは、ラッキーである。

グレン・フライは1948年11月6日、ミシガンのデトロイトに生まれた。子供の頃にピアノを習っていたが、当時は音楽よりもスポーツに夢中だったらしい。12才の頃よりバンドを組んでいた彼は、ある日、ザ・ビートルズの公演を観に行き、「ボール、ボール」と彼の腕の中に倒れこんだ女の子をまのあたりにし、ロックン・ロール人生を決定づけたようだ。そして大学を辞めて、憧れのロサンゼルスにいるガールフレンドを追いかけていった。18才の時である。転がりこんだアパートで、ガールフレンドのお姉さんの恋人、J・D・サウザーに出会い、2人は早速ジャム・セッションを開始、何と次の日にはグループを結成する。幻のロングブランチ&ベニーウィッスルがそれだ。だが、レコードを1枚発表したにもかかわらず、不発に終りグループは解散してしまう。この頃、グレンはジャクソン・ブラウンやシャイロにいたドン・ヘンリーらと知り合い、その後オーディションを受けてリング・ロンシュタットのバック・バンドの一員になる。リングのバックで演奏を続けていくうち、グレンは同じバンドにいたドン・ヘンリー、バーニー・リードン、ランディ・マイズナーらと自分達のバンド、イーグルスを71年8月に誕生させる。

翌72年6月、レコード・デビューを果たし、シングル「テイク・イット・イージー」を大ヒットさせ、好調なスタートを切ったイーグルスは、80年に最後のアルバムとなった2枚組『イーグルス・ライヴ』を発表し、終止符を打つまでに輝かしき栄光を築いてきた。グレン・フライとドン・ヘンリーがバンドの中心柱となり、イーグルスは常に完成度の高い音楽とスピリチュアルな面を押し出してきた。グラミー賞の最優秀バンドに選ばれたり、「ホテル・カリフォルニア」を生んだり、その一步一步は70年代のアメリカ・ロック史に刻まれている。



イーグルスが活動を停止したこの2年間、グレンはカーラ・ボノフやルー・アン・パートンらのアルバム制作に力を貸していた。そして今年の5月にイーグルス解散のコメントを語り、6月にはソロ・アルバム『ノー・ファン・アラウド』を発表。

70年代をイーグルスで歌い、80年代をソロで歌い始めたグレン・フライ。正統なカリフォルニア・サウンドの真髓を伝えてくれる偉大なるミュージシャンである。



